

# シオンの子

第 29 号

2012.11.30



思い出の風景

小学6年 女子

## 伝えきれない家族への思い

わたしは、約五年学園というしせつにいます。今年の夏休みのおぼんに帰りました。海に行きました。約四日ぐらい帰りました。でも、学園には、色々なじょううがありかえれないこは何人もいます。なのでわたしは、すっごくかんしゃしています。そのちよつとだけのお家は、楽しいです。

これからお家の話をします。

わたしは、幼稚園の時、しせつにきました。最初の時は、思いきり泣きました。小さい時は、なにがなにと分からなかったからです。今でも思いたすたんびかなしくなります。

今は、かんしゃしていることがなんともあります。まずお母さんわたしたちのことをいっしょうけんめいかんがえてくれたことありがとう。お兄ちゃんいつもお兄ちゃんは、人おもいでやさしいですね。ありがとう。弟はあばれているけれど実は、さみしやがりなんだよね。妹、笑顔がかわいく毎日みてたいです。今の笑顔ですつといてね。一番したの弟ころんでも泣かない強いこだけ泣きたい時は、いっばいなくてねつと家に帰るたんび笑顔、勇気をもらいます。

最後になりますけど、わたしは、この家族に生れて、しあわせをもらい今は、はなれていても大好きな家族です。また、帰れる日をまっています。わたしは、七人と言う大家族にめぐまれて、本当に、本当に、しあわせです。これからも、家族を大切にしていきたいです。

小学校五年 女子

### 社会を変えてゆく、 園の仕事

社会福祉法人子持山福祉会  
理事長 島田 卓爾

私の関係する地域の勉強会（白秋会 佐藤隆夫代表）

があり、思想・芸術・文化等多面的ジャンルにわたり講師からお話をきいて、討論や意見交換を通じて、自らの知見を高めようという集まりです。

先日、当園の豊田誠施設長の「この子らとともに、学園のこと」と題する講話をお聴きすることができました。その一部については広く世間の人々にも、そして当然ながら社会福祉とりわけ児童養護に携わる方々に対しても有用なお話でしたので、書かせていただきます。

それは、この日本の現代社会に生まれて或いは望まれないとしても結果的に生まれ出た子供たちの多くが、必ずしも幸せな生活を通じて成長していつてくれるか。親の境遇や都合によつて、どうにでもなる薄氷の上にある幼少期の人生。平和と安定を指標とする現代政治なるが故に、社会の連帯責任において、子ども達の生活保障が確実なものとされているといわれております。

然し乍ら間違つた思想で育つた親たちの利己性向が次々に伝播され、その時々親の都合によつて放り出されることも生じる子ども達の不幸な生涯が、如何に次世代の社会構造に悪影響を及ぼすかを考えると、日本の将来は暗たんたるものがあります。

子ども達の「愛情あふれる親」として子ども達に接して社会の荒波に送りだす使命があるのです。

私は、胸が熱くなるのを憶えました。豊田施設長のお気持の極々僅かしか理解していなかつた意識に大いなる恥辱と自省を感じたからであります。率直な気持ちで豊田施設長に、感謝しております。

### 三つの抱擁

児童養護施設子持山学園  
施設長 豊田 誠

子持山学園は創立六十周年を迎えた。五月五日の「子どもの日の集い」には

多くの支援者、関係者、地域の方々が来園されにぎやかに心温まる交流会がもて、

子ども達が工夫して準備した模擬店、手品、なわとび、音楽演奏会と楽しい時間はたちまち過ぎてしまった。最後の「抽選会」も大いに盛り上がり思い出に残る一日となった。

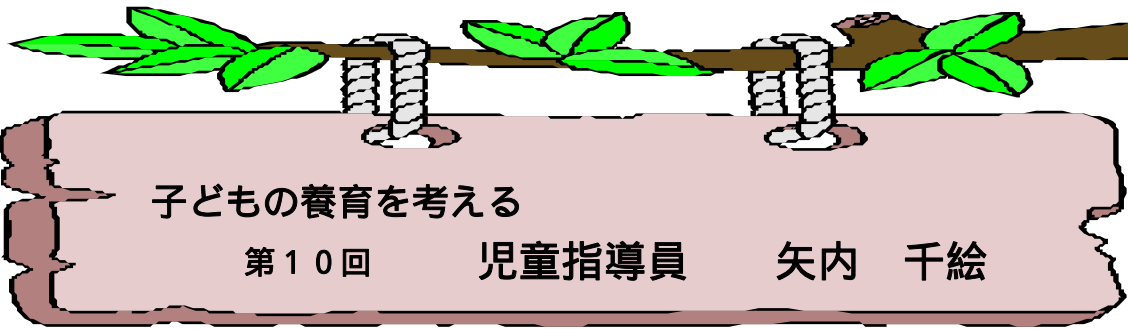
現在、国により児童養護施設に関わる改革が大きく進められている。児童養護施設の「小規模化と施設機能の地域分散化による家庭的養護の推進」。将来の社会的養護児童の養育は「施設」「グループホーム・ファミリーホーム」「里親」で三分の一ずつにしていくこと。施設長の資格要件の明確化や自己評価と第三者評価の受審必須化の推進。また、群養協では、地方分権に伴い県が定める条例に対し意見及び要望書を何度も会議を重ね提出した。しかし、法律が変わり制度が変わっても原点にあるものは変わらないと思う。

三つの抱擁の話。死期を迎えた母親にやっと会えた子どもが、母の「会いに行

けなくてごめんね」という言葉と共に強く抱きしめてもらい、温もりを感じて生きる勇気をもたらした話。二つめは、養護施設を飛び出し二日間戻らなかつた自分を、必死になつて探し、怒られると思つていた自分をしっかりと抱きしめ、話を聞いてくれた先生。愛されていると強く感じられた。最後は、祖国においてきた乳飲み子に、二十数年後に会いに行き、ぼろ切れのように働いていた娘を涙と共に抱きしめることしかできなかった母親。母の思いが娘に一步踏み出す勇気を与えた。人は、いつの時代でも、愛されていることを実感し、一人ではない。仲間や多くの人に支えられていることを実感する事で前に向いて歩いていける。子持山学園が、丁寧な生活の営みを続けることで、子ども達にとつてふる里であり温もりを感じられ勇気

のもてる所になること





子どもの養育を考える

第10回

児童指導員

矢内 千絵

どれ程の子どもが「愛された」と実感しながら園を出て行ったのだろうか。また今生活している子どもどの位が「愛されている」と感じているだろう。

言うまでもなく、私たち職員は日々子どもたちに愛を持って接している。ただ、「愛する気持ち」だけでは子どもたちを守れない現状が今の児童養護にはあるように感じる。

施設に入所してくる子の抱える問題は本当に複雑。虐待で傷を受けた子、発達障害を持っている子、本当に様々で自分の感情を表現するのが苦手な子が多い。毎日子どもと関わっていると、思うようにこちらの想いが伝わらないもどかしさを感じたり、何事もなく一日を終えられたことにほっと胸を撫で下ろすことも少なくない。そんな日々の中、精神力や体力ともに疲れ果て職場を去っていく仲間もいるし、自分の無力さを感じた時、「気持ち」だけで向き合っていく限界を感じる。

いつか研修で「愛だけでは足りない。そこに必要なのは愛を伝えるための技術である」と教わった。職員が技術を使って子どもへ社会で生きていく上で必要な技術を教える、ということである。何やら堅苦しく、愛とは少し違った印象を受けるかもしれない。だが子どもたちが自立していく中で困らないように、人とうまくコミュニケーションがとれて、毎日がもっと楽しくなるようにスキルを教えていくことは、やっぱり必要だと私は思う。自分の役目について、改めて考えさせられた。

今、園では愛を伝えるための技術を職員全員で勉強している。この取り組みの成果が出てくるには長い時間がかかると思う。でもいつか、職員の気持ちが子どもたちに伝わり、子どもたちが愛されている実感の中、充実した毎日が送れるようになることを信じている。私も自分の技術を磨きながら、毎日子どもたちへ愛を伝えていくことと思っている。



フアイト!お父さん

私の父は、今とても頑張っています。ですが、私の父が頑張っている事は、仕事や家事ではありません。

それはリハビリです。約一年前に父は脳梗塞になり入院しました。知らせを初めて聞いた時、正直に言うとうと、面倒くさいと思ってしまう。また、なかなかすぐには完治しない病気だと知っていたので、自分の生活に影響が出ないかだけをひどく心配し父の事は心配していませんでした。

「こんな忙しい時期にどうして?病気なんかかかっちゃって」心の中ではそんな事をいつも考えてしまっていました。実は、私は児童養護施設に入っています。母は約四年前に病気で亡くなりました。それに、もともと母は病弱だったので、平日施設に居る時はすごく寂しい気持ちでした。

でも、父は忙しい合間を縫って、私に会いに来てくれました。友達か遠い県に遊びに行つた話を聞くのはすごく羨ましくて悔しかったけれど、父が公園で、普通の家族が絶対真似できない様な奇想天外な遊びをしてくれたことは本当に嬉しかったです。

時には叱られたり、拳骨をもらったりしたことあったけれどその教訓は、私の今の生活に良い影響を与えていると気付きました。

そして、父の発症の原因は仕事を一生懸命頑張っていたからではないかと父をよく知る人に言われました。病人の父が、少し嫌いだっただけは、その話で「ハッ」としました。なんて私は、酷いことを思うてしまったんだろう。父に感謝もせず、自分の利益ばかり考えていた私は非情だったと思います。

ある看護師さんが「お父さん、娘であるあなたがお見舞いに来るからこそ、リハビリ頑張れるんだよ、きつと。」と私に言いました。

お父さんはいつでも私のために頑張ってくれてる。そう思うと、とても嬉しい気持ちでいっぱいになりました。

今日も、お父さんは歩行の練習など、リハビリを一生懸命に頑張ってくれているでしょう。歩けるようになれば、また一人で出掛けたりできます。私は、その日を楽しみに、父に負けない位努力したいと思います。

そして、父へ伝えたい一言。「お父さん、本当にありがとう。」この言葉をいつか、父に伝えたいです。

子持山学園 中学女子

( 茨川市 父の日作文

最優秀賞受賞)





シオンホームでは現在、二歳児〜中学一年までの女の子六名が、それぞれの持っている個性を思う存分に発揮しながら、毎日にぎやかにすごしています。また、その子ども達が個性を思うがままに発揮出来るよう、子ども達に負けないくらいの強い個性で見守り、サポートする、指導員一名と保育士二名の職員が子ども達と共に生活をしています。

一方がお喋りを始めると、もう一方が負けじとお喋りを始め、すぐに言い合いになってしまふ学園の中で一番年下の二歳児Aちゃんと、そのAちゃんより四カ月程お姉さんのYちゃん。この

二人のお姉さんになるうと奮闘中の小学一年生のKちゃん。そんな可愛らしい三人を、すこし口調は強いけど本児達なりの優しさで面倒を見てくれる小学五年生のTちゃんと小学六年生のYちゃん。そしてとてもマイペースなため「周りが見えていない?」と少し不安になっ

てしまふが、意外にしっかりと周りを見ていて冷静なお姉さんらしい発言をしてくれる、シオンホーム最年長、中学一年生のMちゃん。子ども達の自立に向け、一人一人に直していかなければならない課題が有り、どうすれば伝わるのか悩む事ばかりですが、職員同士で情報を共有し合い、子どもの「個」に向き合いながら少しずつ伝えていければと感じます。子ども達が安心して毎日の生活を送れるような環境作りに努めていきたいと思えます。

シオンホーム  
保育士 阿部 野々香



のぞみホームは、幼稚園の年長から高校三年生までいる八人の男子ホームです。年齢層がバラバラな為、学校に部活、アルバイトや塾に行っている子もいるので生活時間が異なり、なかなか子ども一人一人に関わる時間がとれないのが現状です。ですが私には毎月の目標に『一日一回は必ず子どもの名前を呼んで声をかける』を心掛けています。そんな事はもちろん当たり前の事ですが、八人の大家族だと意識しないと難しいものです。子どもの方から学校の事や友達の話、出来た事、時には失敗した事や怒

られた事など話してくれる子もいれば、あまり自分の事を話しながらない子もいます。なので、朝の「いつてきます」帰ってきてからの「ただいま」声のトーンや顔の表情を見て、「学校で何かあったのかな?」「いい事でもあったのかな?」と小さな変化でも見逃さないようにしています。

先日、期末テストがありました。それぞれ机に向かって勉強に励みますが、中には勉強する気になれない子もいるので、なるべく時間を作り、関わるようにして

います。初めは調べる事にやる気が出ず、とても時間がかかっていました。ですが、日に日に頑張ろうとする気持が出て来たようで、最終日には答えを見ないで黙々と取り組み、眠いながらも頑張っていました。

小さな事もしれませんが、そんな少しずつ前に進もうとしている子ども達を守り、私も共に成長できたらと思えます。

のぞみホーム  
保育士 飯島 梓





まことホームに配属になり一年と八カ月経ちました。女の子のホームはにぎやかで和気あいあいとしたホームです。

高校三年のAちゃんはとてもマイペースですがよくお手伝いしてくれます。

高校一年のYちゃんはドメーカで朝早く起き毎日頑張つて登校しています。

中学三年のYちゃんは受験真っ只中で勉強をととても頑張っています。

小学六年生のAちゃんは小さい子の面倒をよくみてくれます。

小学五年生のAちゃんはイナズマイレブンが大好きな女の子です。

幼稚園年中のTくんは元

気いっばいの男の子です。

個性豊かなまことホーム

では笑いあり涙ありで毎日色々な事があります。テレビを観ながら大笑いしたり、物を取ったとケンカしたり、テンションが高くなつてホームの中を走り回ったりと元気いっばいの子ども達です。

時に私が体調が悪かつたり、忙しそうにしていると何も言わなくても進んでお手伝いしてくれます。そんな優しい心の持ち主でもあるまことホームのみんなに私自身も成長させてもらっています。

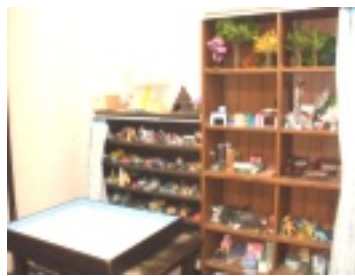
他のホームにも関わる時間が増え、みんなに居る時間が減つてしまい少し寂しく思うこともあります。

みんなに会うといつも「まっちー!!」と元気に駆け寄ってきてくれます。そんな子ども達から元気をもらいとても嬉しい気持ちで満たされます。

みんないつでもありがとう。

まことホーム

保育士 町田麻奈美



本年四月より、心理士としてお世話になっております。この半年程は、子ども達の溢れんばかりの好奇心や豊かな発想に触れ、私自身も幼少期に楽しみにしていた「遊びの時間」を思い出しつつ、支援者としての関わりについて模索して参りました。

自分の想いを十分に言葉で表現出来ない子ども時代は、「遊ぶこと」を通して様々なものを表現するとされていきます。例えば、おま

まことの場合。食べ物のおもちやを沢山引つ張り出してんこ盛りの弁当を作る子、自分の好きなものだけを弁当箱に入れる子、仲良く半分に分けてくれる子、一人占めしたがる子、赤ちゃんの人形に優しく食べさせてあげる子。ひとつの遊びをとつても、表現の仕方は十人十色です。このような場面から、子どもを取り巻く生活環境等も考慮し、今、躰いている問題は無いが、また目の前にいる子の能力を最大限引き出すにはどのような関わりが最適なのか、個々に見合つた支援を考えつつ、成長を見守っていくのが私の役割です。

一回一回の仕事(プレイセラピー等)は地味なものです。各ホームの職員と連携し、子どもの様子や、職員の子どもに対する思いを共有していくことで、多方面からの支援を可能にすると考えています。また、そのことが子ども達の生活をよりクリエイティブにするものと信じております。

寒さが増す季節となり、プレイルームでは大切な人の為にマフラーを編んでいる子がいます。そんな子どもの優しい気持ちに触れ、心がほつと温まる瞬間もまた、対人援助職の魅力であると感じています。

心理担当

臨床心理士 田中朋子



# 活動報告

平成24年4月～10月

- ・幼稚園、各校入学式
- ・波川中央ライオンズクラブ様  
バーベキューのご奉仕
- ・サイエンスマジック科学実験  
(高専小島先生来園)
- ・イースター早天礼拝
- ・ジャガイモ植え体験
- ・お好み焼き大会と同様で食事(招待)
- ・創立60周年子ども日の集い
- ・白井宿八重桜祭り
- ・ザスパ草津戦観戦(大西シート)
- ・群馬県ALT(外国人教師)来園交流
- ・群養協ドッチボール大会
- ・幼稚園親子旅行、各校授業参観
- ・波川教会ピクニック、夏季キャンプ
- ・子持山登山、ハイキング
- ・J.R東労組様招待行事(平和祈念集会、  
ボーリング大会、ソフトボール大会、  
旅のプレゼント(上野動物園))
- ・「高校生海外生活体験の旅」に  
当園高校二年男子が参加、アメリカへ  
(テレビ朝日福祉文化事業団主催)
- ・鯉沢地区納涼祭、夏祭り
- ・園内サマーコンサート  
(セレモニースポーツ彩様ご奉仕)
- ・バーベキュー、焼肉ハイキング、花火、  
流しソーメン、デイキャンプ、わくわく  
体験企画、ホーム旅行etc
- ・波川市民吹奏楽団定期演奏会招待  
中国からのお友だち、熱烈歓迎!!
- ・(J.R東労組様主催、交流会)
- ・群養協ソフトボール、サッカー大会
- ・群馬タイヤモンドベガス戦招待
- ・大相撲藤岡場所招待(全日本プロレス様)
- ・さつま芋掘り、栗拾い体験
- ・資生堂主催自立支援セミナー

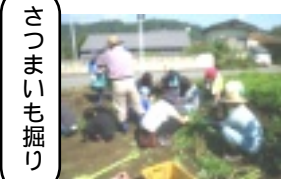
その他、多数の招待、寄贈等に感謝

平成二十四年十月入所児童状況

- ・幼児 五名
- ・小学生 十九名
- ・中学生 十五名
- ・高校生 十四名



おもちゃ王国招待



さつま芋掘り

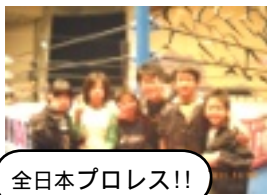


バーベキュー  
(波川中央ライオンズクラブ)



JR旅のプレゼント

餅つき(善行会)



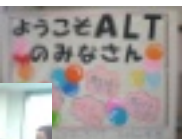
三愛荘へ慰問



サイエンスマジック



憧れのハーレー!!



全日本プロレス!!



## 学園を支えてくれる『ひと』

私がピアノ教室の講師として、子持山学園に伺い始めたのは、五年程前の九月からでした。五、六人の子ども達が出来てくれて、土曜日が楽しみでした。

練習がなかなか出来てなかったり、時間遅れてしまったり、色々問題はありましたが、それでもやめてしまふ事もなく、次の週には元気な笑顔を見せてくれると私も来たかいたがったなと嬉しく思いました。

またピアノに関係なく部活や日常生活の事でお話したり、子ども日のイベントやクリスマス会に呼んでいただいたのも、良い思い出です。

事情が変わり、今はSちゃん、Aちゃんの二人が学校の帰り道に我が家へ寄ってくれています。二人ももう高校三年生となり自立する時が来ました。根気良くピアノを続けた事が、将来にちよっぴり役立ってくれたらいいなと思います。

ピアノボランティア

後藤 玲子





NPO法人日本子ども養育研究会より講師を派遣して頂き、四日間に渡り園全体で研修会を行いました。アメリカボイスタウンプログラムが基盤となっている養育技能で、子どもと職員がより良い関係を築き、子どもたちが自立していく上で必要な技術を、効果的に教育する技術等が盛り込まれています。

現在、研修で得た知識を実践に移す段階にきています。大人も子どもも試行錯誤しながら子どもにとって有益と信じて取り組んでいます。

職員「感謝の気持ちを伝える時に何て言うかな？」  
子ども「ありがとうって言う!!」  
職員「じゃあ、次の二つを比べてどうかな」  
職員「じゃあ、ペンを貸してくれてありがとう」

・ありがとう。  
子ども「最初の方が気持ち伝わるかも...」  
職員「何に感謝してるかわかりやすい...」

小学生対象の「子どもスキル学習会」でのひとコマです。子どもが社会に出て困らないよう、必要なスキル(技術)を教えています。とても基本的なことばかりです。日本子ども養育研究会では、51のスキルを掲げています。

あいさつをする、ありがとうをいう、意見を伝える、あやまる...

### 日本子ども養育研究会 養育技能プログラム

「どうしてあいさつしないの!」「人から物をもらったら何ていうの!」  
日常生活の中でよく聞かれるフレーズです。  
このような言葉は、子どもには「怒られた」、「注意された」としか受け止められず、肝心の「伝えたいこと」が伝わらず、そればかりか関係性まで悪化してしまいます。



また、実践が始まったばかりですが、子どもたちも意欲的に取りくみ、誉める機会が増え、関係性もよくなってきています。「愛情と技術」は子ども養育に欠かせないと実感しています。

(高橋)

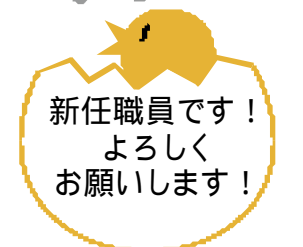
できなかった時に、それを指摘しても先述の通りなので、子どもが落ち着いている時に「教育」することがポイントです。それを「予防的教育」と呼んでいます。

ありがとうをいう(スキル)  
相手の顔を見ます  
感じのよい口調で...  
〜してくれてありがとう...  
役に立った理由を...



感謝の気持ちは、...のようにできれば、具体的に伝わるし、評価も高まります。これを「ステップ」と呼んで子どもに予防的教育をしています。そして、このスキルを子どもが実践できたときに、だまっで見過ごしてはいけません。「効果的に誉める」ことで、子どもは「良かった、またやってみよう!!」という気持ちになります。

(職員)「すごいね、「ありがとうをいう」ができたね!! 私の方をみて、笑顔で、〜してくれてありがとうと言えたね。何に感謝しているかよく分かってとてもよかったよ、がんばり表にスタンプ押すね!!」



高橋 田中 黒澤

黒澤夏美(保育士)  
田中朋子(臨床心理士)  
高橋里江(保育士)

田身地は?  
(黒)前橋市 (田)埼玉県草加市  
(高)東吾妻町  
人生で一番嬉しかったことは?

(田)吹奏楽コンクールの全国大会の演奏を専門館で聴けたこと  
(高)特大ジャッキーのぬいぐるみを買ったこと

座右の銘は?  
(田)善は急げ(高)なんとかなる!!  
趣味は?

(黒)ドライブ、プラプラ...  
(田)音楽鑑賞、楽器演奏  
(高)ドライブ、山を見に行くこと  
子どもとどんなふうに関わりたい?

(黒)自分自身が戸惑わないように  
(田)プラス思考で。  
(高)ポジティブに、楽しく!!  
生まれ変わるとしたら?

(黒)なまけもの  
ひたすら寝たいです(笑)  
(田)吹奏楽部の顧問  
(高)鳥(空を飛んでみたい!!)

お心遣いに感謝致します

(12・4・12・10) 敬称略・順不同

寄付金

アイリオ生命(株)社会貢献グループ、須藤いづみ、木村三郎子、武藤孝夫、大嶺真勝、山口道子、...

寄贈物品

(株)コホーレシオン、(株)D.H.E.M.E. ATSUISHI、(株)博品館、岩倉克治、山口勲、水沢亨、...

(上記続々)

吉沢絹枝、丹羽絵、柳井元子、篠原徹、長島寛、井上良晴、大塚廣末、...

他多数の各位

ボランティア

児童交流、須藤いづみ、杉本日和、都筑徹、ベビーマッサージ、林弘子、...

掲示板

退職職員

山田美穂(保育士) 大変お世話になりました。

新任職員

高橋里江(保育士)、高平園英(非常勤スタッフ)、...

ご支援・ご招待等々 ありがとうございます。心から感謝しております。

苦情解決報告 計二件

(平成二十四年四月〜十月) 内容、職員の言動について改善を求めたい、結果、苦情解決責任者立ち会いのもと、職員と子どもで面談、職員より謝罪と改善の約束。...

コストコホールセール(株)前橋倉庫様 パーベキユーの材料を沢山頂きました。

奥木志津代様 ご夫婦で来園、手作り餃子で会食のご奉仕。

中央インフサポート様 食材の有効活用、本園も恩恵を受けました。

タイガーマスク基金様 テレホンカード計二五〇枚の寄贈。緊急時の連絡等、有効に活用します。

全日本プロレス様 大相撲藤岡場所への招待。大迫乃に圧倒されました!!

テレビ朝日福祉文化事業団様 『海外生活体験の旅』に本園から一名参加。かけがえのない貴重な体験ができました。

セレモニースポーツ彩様 ビデオ・バイオリンコンサートのご奉仕。生演奏の素晴らしい音色にうつと。

JR東房組様 毎年恒例のボーリング、ソフトボール、旅のプレゼント。楽しんで頂きました。また、今夏、中国からのお客様を本園に招かれ、交流会のひと時を過ごしました。(緑の風希望小学校のみなさんが来園)

お米、洋服、野菜、果物、子どもとの触れ合い、励まし、寄付等々、大勢の皆さまの温かな善意の上に私たちの生活が成り立っております。今後とも宜しくお願い申し上げます。



ボーイズタウンプログラム 園内研修会の様子

北極星

先日、「タイガーマスク運動」を始めた伊達直人氏の講演を聴く機会がありました。同氏は自身の複雑な生い立ちから、ランドセルを持って、布で教科書を包み小学校に登校していたそうです。そしてクリスマスにサンタクロースに手紙を書きました。...

(田中)



来てくれてありがとう!! 2012. 8. 8 児童福祉施設 子持山学園